

◆通常総会議案書記載の委員会・部会・コミュニティ

年度	no.	名称	趣旨、目的、活動内容の紹介など
2016	1	I T 経営研究所	経営環境の変化、ITの技術進展を見据え、中小企業、IT経営にフォーカスして、実践的な知的資産を産み出すための調査、研究、情報発信を行う。活動に当たっては知のネットワークを核にして、関連諸団体、研究機関、学会、資格者団体等との連携して進める。プロセスガイドラインなど協会知的資産の管理・運営。
	2	研修・制度委員会	教育研修事業の方針を定め、事業企画、I T C 資格制度の改善企画、I T C の試験、認定等に関する事項を管掌する。
	3	マイナンバー監査WG	昨年度実施した「マイナンバー導入支援者育成研修」に続き、マイナンバー運用開始後に行うべき「点検・監査」について、特に中小企業・小規模事業者をサポート、助言できる人材を育成する「マイナンバー内部監査人育成研修」を開発し全国主要都市で開催する。
	4	ケース研修教材改訂WG	PGL3.0への改訂に伴い、PGLと連動した「ケース研修教材」を開発するために今年度立ち上がったWG。2017年度第1期ケース研修から使用を開始する予定。
	5	試験問題作成部会	I T C 資格認定の前提となる試験問題の作成、および試験制度全般に関する提案を行う。
	6	I T C A 研修部会	2015年度の「オープン研修ワーキング」からの提言を受け、これまでの研修体系を抜本的に見直し、ケース研修、フォローアップ研修の後を受けてITCが稼げる力を身につける研修を新設、展開する。また受講対象をITC以外にも門戸を開き、参加しやすい研修群にするなど検討していく。
	7	事業企画委員会	骨太の3カ年計画のフォローと協会事業全般のフォロー、およびビジョン諮問委員会のミッションを取り込み、総合的なビジョンの策定および提言を行う。
	8	会員サービス向上WG	広くI T C、理事、会員の協力を得て、有益な知見、活動支援を集約し、会員向けサービスの改革による会員拡大を図る。具体的には「会員のI T C A 事業参加機会の拡大」「会員に「役に立つ」知恵・情報・I T C 情報を提供」「ユーザー会員企業のコミュニティ立ち上げ」の実現を目指す。
	9	つなぐI T 推進委員会	「つなぐIT」をキーワードに企業間・企業内の情報連携により、「業務の効率化」を推進し、中小企業の新たなビジネスモデルを模索する。「日本版インダストリー4.0」を法政大学など官学と連携し推進する。（委員はユーザー企業が中心）
	10	つなぐI T 支援部会	ITカイゼンツールの検証、中小企業への普及を目的に、首都圏のITコーディネータが参加する「ITカイゼン研究会」が中心となり、各種セミナーや企業への導入展開を進める。
	11	つながる町工場部会	日本版インダストリー4.0を目指し、中小企業3社と連携しながら、新たなビジネスモデルを模索、構築する。
	12	共通E D I 標準部会	企業への共通E D I 導入支援を通じて、中小企業が使える国際標準共通E D I インフラを提言する。今年度は「インダストリー4.0」におけるビジネス・プラットフォーム（企業間情報連携基盤）の提案を行う。